

平成27年度

第2回市川市交通対策審議会

日 時:平成27年7月9日(木)午後2時00分～

場 所:市役所5階 理事者控室

会 議 次 第

1. 自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案について(答申)
2. その他

答申(案)骨子

駐輪場を取り巻く背景と課題

- ・ 駐輪場運営において、受益者負担の原則が強く求められるようになってきた。
- ・ 市営駐輪場経営において、無料駐輪場の有料化や収支バランスの均衡が指摘されている。
【平成 25 年度 第一次アクションプラン「公の施設の経営効率化」】
- ・ 放置自転車は減少しているが、利用者のニーズが多様化してきている。

駐輪場の収支は…

- 駐輪場運営コスト > 駐輪場使用料収入
【594,549,360 円】 【476,818,870 円】

1 億 1,773 万 490 円の収入不足

※収入不足のうち無料駐輪場が 1 億 673 万 6,828 円。

- サービスの差が使用料に反映されていない。
※ 現在は駅までの距離のみで算定。

現在の駐輪場運営は…

- 環境変化や利用者ニーズの多様化
※ ニーズへの迅速で柔軟な対応など。
- 駐輪場ごとの利用率に差
- 駐輪場の経費構造の見直し
※ 平成 25 年度の総コスト：
5 億 9,454 万 9,360 円

受益者負担の適正化と
サービスに応じた使用料

- ① 無料駐輪場の有料化とそれに伴う環境改善
- ② 駐輪場使用料をサービスの質
【例：距離・屋根・階層・地域性】に応じて改定
- ③ 駐輪場運営コストの削減

民間活力の活用

- ① 民間のノウハウ・創意工夫の導入
【例：委託範囲の見直し・拡大】
- ② 最適な駐輪場運営手法の検討
【例：指定管理・PFI・民営化】
- ③ 高齢者の就労機会の確保

目指すべき結果

- 駐輪場運営コスト = 駐輪場使用料収入
- サービスの質に応じた新使用料金体系
- 駐輪場運営コストの削減
- 柔軟かつ迅速な駐輪場経営
- 駐輪場利用率の平準化
- 駐輪場のサービス向上

平成 27 年 7 月 9 日

市川市長 大久保 博 様

市川市交通対策審議会
会 長 高 田 邦 道

市川市自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案について(答申)(案)

平成 27 年 6 月 5 日付、市川第 201505022-0245 号にて、市川市交通対策審議会へ諮問のありました標記の件について、当審議会において慎重に審議した結果、下記のとおり、答申いたします。

記

1. 自転車等駐車場を取り巻く環境の変化と諮問内容

市川市においては、昭和 40 年代後半より、駅前の放置自転車が「都市問題」として顕在化し、一部の駅から市営駐輪場を設置しはじめた。

さらに、昭和 56 年には「市川市環境美化条例」が施行され、放置自転車の対策が実施されてきた。

ところが、平成 9 年には、行徳駅の放置自転車数が全国ワースト 2 位になるという国の調査結果が報告され、さらなる市営駐輪場の増設及び放置自転車対策が進められてきた。

現在、これらの取組みにより放置自転車も減少するなど、駐輪場を取巻く環境は大きく変化している。また、市の行財政改革の一環として、平成 26 年 4 月の市政戦略会議の答申においては、「無料駐輪場の有料化と収支バランスの均衡」及び「民間活力の積極的な活用」が示された。その後、市川市において「市川市自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案」が作成され、「受益者負担の適正化とサービスに応じた使用料」と「民間活力の活用について」の 2 点について平成 27 年 6 月 5 日に諮問を受けた。

2. 受益者負担の適正化とサービスに応じた使用料について

受益者負担の適正化とサービスに応じた使用料については、市民サービスの公平性の観点から、無料駐輪場の有料化及び使用料の見直しにより収支の均衡を図ること。また、無料駐輪場の有料化にあたっては、利用料金に応じた管理、施設の改善を施すこと。

駐輪場の利用料金については、民間事業者において運営されている駐輪場に配慮し、地域性、駅からの距離、屋根の有無などのサービスに応じた料金体系とすること。なお、学生や障がい者等の減免措置については、引き続き、配慮すべきである。

3. 民間活力の活用について

民間活力の活用については、最適な駐輪場運営手法を検討することとし、市民、利用者へのサービスが向上するよう、最も効果が発揮できる手法を見極めること。

また、超高齢社会となることから、高齢者の雇用拡大についても配慮すること。

4. 附帯意見

審議の経過において、委員より次のとおり意見があったので、駐輪場の運営にあたり配慮されたい。

- ①経営改革を進める上での利用率については、実際の台数を踏まえたものとする
- ②無料駐輪場の有料化においては、新たなコストを見込んだ計画とすること。
- ③今後もコストと収益の状況を公表すること。
- ④時間貸しの駐輪場については、初期利用時間の無料化を図ること。
- ⑤有料化に伴うサービス向上策の内容を具体的に示すこと。
- ⑥3人乗り自転車や原付二種への対応に配慮すること。
- ⑦駐輪場管理人による適切な管理と、接遇の向上に努めること。
- ⑧放置自転車の増加が懸念されることから、放置自転車禁止区域内外にかかわらず対策を講ずること。

以 上

資料3(追加資料)

平成27年度 第2回市川市交通対策審議会

平成27年7月9日

交通計画課 駐輪・駐車施設担当室

市川市交通対策審議会の質疑による「他市の自転車等保管料の状況」につきましては
下記の通りです。

近隣市の撤去保管料(自転車・原付バイク)

	市川市	松戸市	浦安市	船橋市	鎌ヶ谷市
自転車	3,000円	3,000円	3,000円	2,700円	2,000円
原付バイク	6,000円	6,000円	6,000円	3,240円	3,000円

駐輪場経営手法の見直し 事前資料

○現在の駐輪場の収支

平成 25 年度行政コスト計算書では、市営駐輪場にかかるコスト 5 億 9,454 万 9,360 円に対し収入は 4 億 7,681 万 8,870 円で、差引 1 億 1,773 万 490 円の収入不足となっている。

現在、不足額については、市民に納めていただいた税金などで補てんしている。

今後、駐輪場にかかるコストは、受益者である駐輪場利用者の使用料で賄うよう見直す。

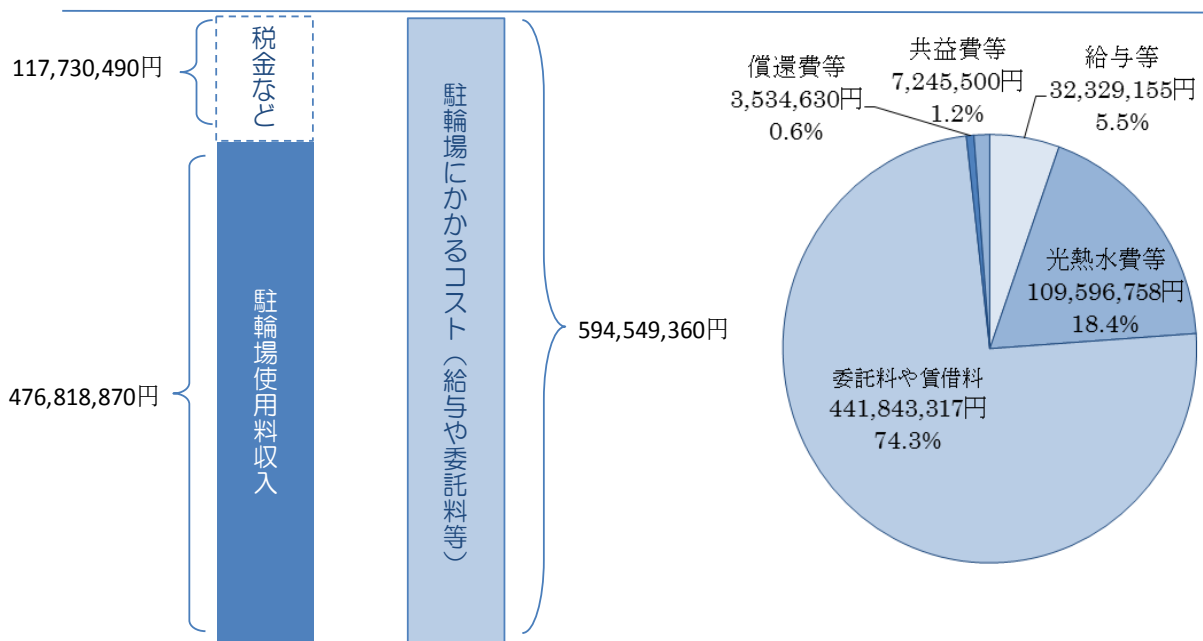
	施設数	収容台数	コスト	収益	収支
有料駐輪場	28	26,240	487,812,532	476,818,870	▲ 10,993,662
無料駐輪場	18	11,670	106,736,828	0	▲106,736,828
合 計	46	37,910	594,549,360	476,818,870	▲117,730,490

(駐輪場にかかるコスト)

職員給与や臨時職員賃金など	32,329,155
光熱水費や施設修繕料、減価償却費等	109,596,758
委託料や賃借料など	441,843,317
地方債の償還費など	3,534,630
地下駐輪場の共益費負担金など	7,245,500
合 計	594,549,360

(駐輪場使用料収入)

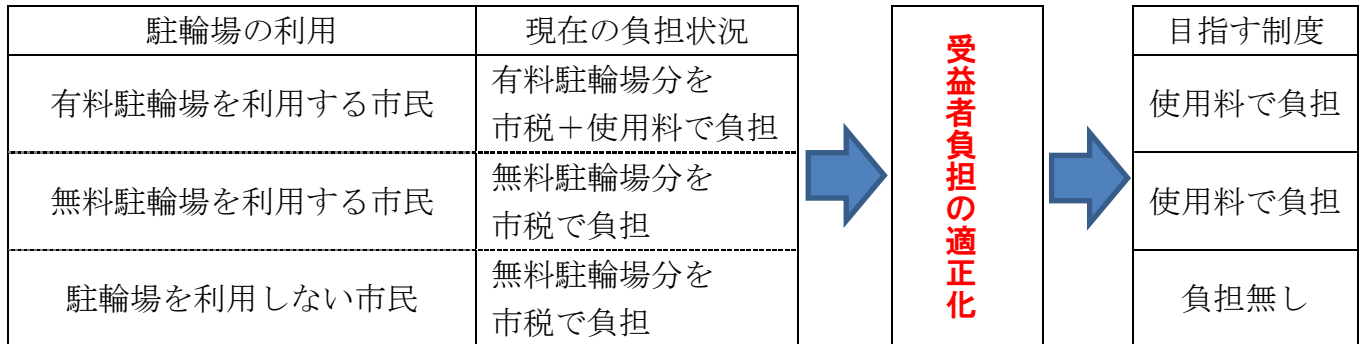
定期利用の使用料	298,843,710
一回利用の使用料	177,975,160
合 計	476,818,870



参考資料 1

○無料駐輪場の有料化について

現状の負担割合を適正化し、市税の公正、公平な活用につなげていく。



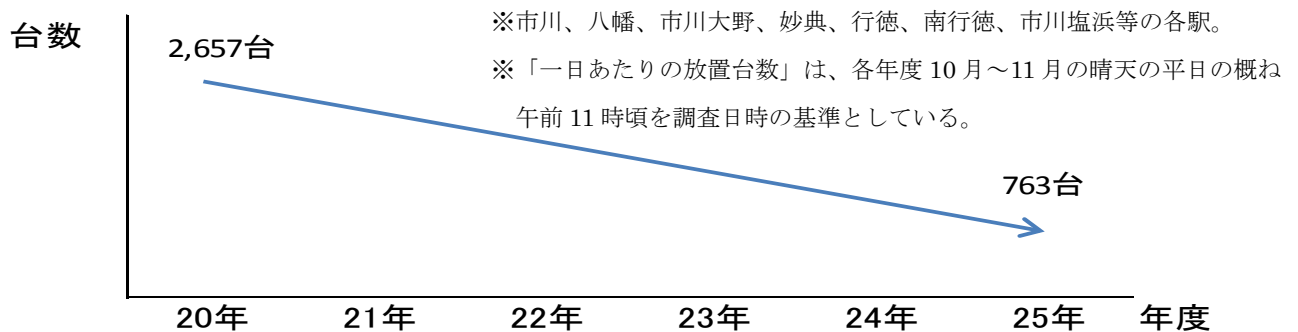
○無料駐輪場を設置してきた理由

平成 15 年の設置管理条例施行時に、放置自転車を削減する目的で設置した。その後、放置自転車は年々減少しており、設置目的が果たされてきた。

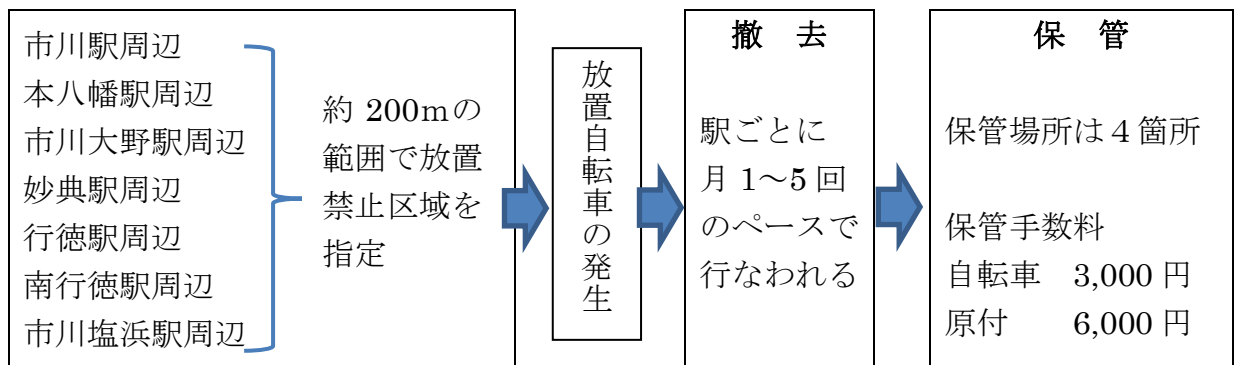
その反面、市民負担のアンバランス、過剰な収容状態からくる出しづらさ、長期残留駐自転車の存在などの問題が出てきた。

○放置禁止区域での違法駐輪の減少について

放置自転車台数の推移



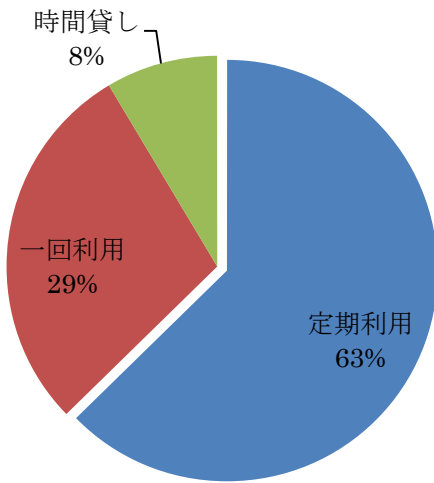
現在の放置禁止区域



街頭指導員の配置は、現在の放置禁止区域のみとなっているが、無料駐輪場の有料化後は、各駅の放置自転車等の状況などを確認し、新たに放置禁止区域の指定、街頭指導員の配置を検討していく。

○初期利用時間（2時間～8時間）の無料化について

一回利用、時間貸しの現況について



- ・利用者全体の63%が定期で利用。一回利用は37%、うち時間貸しでの利用は8%。
- ・一回利用は、使用料1回につき24時間利用できる。24時間を越えると24時間ごとに一回の料金が加算される。

(一回利用の料金)

自転車 一般	100円
自転車 高校生以下	50円
原付	210円

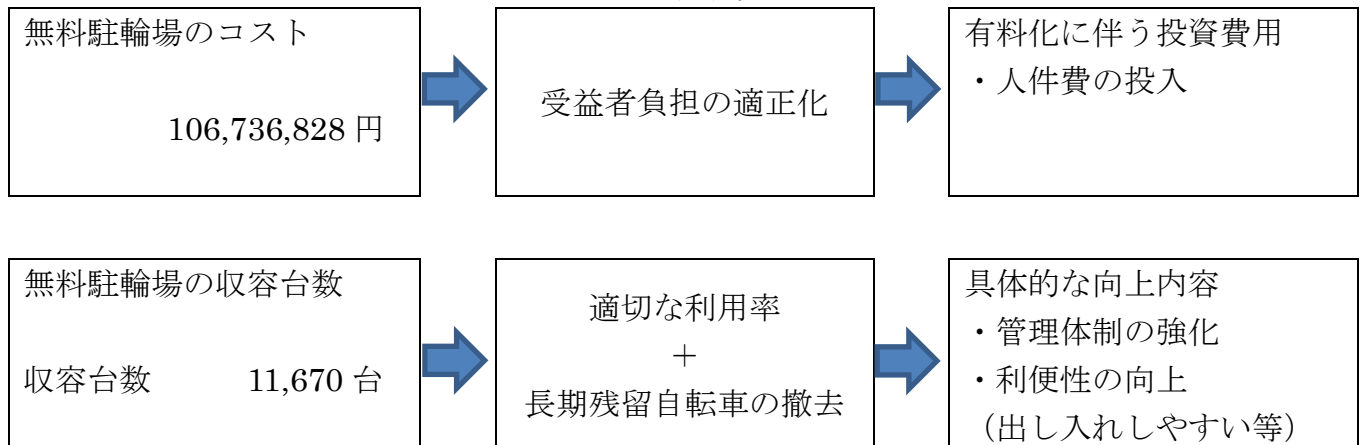
- ・時間貸しは、最初の2時間無料、その後2時間毎に100円が加算。

平成25年度(歳入) (単位:円)

定期利用	一回利用	時間貸	合計
298,843,710	137,021,350	40,953,810	476,818,870

現況		見直し(案)
一回利用 (不定期的な利用や 大学生等の利用形態)	自転車 17箇所 (5,069台) 原付 7箇所 (188台)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅圏ごとの駐輪場の配置状況と利用状況に応じて定期・一回・時間貸しの配分を検討。
時間貸し (主に買い物客を対象)	3箇所 (409台)	

○具体的なサービス向上によって発生する投資費用と経営計画について



参考資料 1

○有料化によって具体的にサービスは向上するか

無料駐輪場の現況

管理状況

- ・無料であるため、管理人による整理・整頓が行き渡らない。
- ・駐輪する自転車の間隔が狭く出しづらい。

受益者負担の適正化
無料駐輪場の有料化

有料化後

管理状況

- ・駐輪場ごとの利用状況に応じて管理人の配置、駐在時間を検討。

入れやすく、出しやすい
収容台数の適正化

○どの施設でどのような改善が行なわれるのか

動線はしっかりと引かれるのか。	収容台数を適正化することにより、駐輪場利用者がスムーズに安全に移動できるようにする。
3人乗り、または電動機付き自転車には対応するのか。	ラック式駐輪場については、平置きスペースを確保する。
50cc以上の原付2種バイクは駐輪可能になるか。	現在、原付の駐輪を可としている駐輪場にて検討する。
照明の設置はされるか。	駐輪場利用者の安全のため、全ての駐輪場で設置する。すでに照明設備がある駐輪場についても、照度の確認を行う。
常駐の駐輪監視員の増員はされるか。	駐輪場ごとの利用状況に応じて管理人の配置、駐在時間を検討。

※基本的には、施設の改善のためではなく、受益に応じた負担を適正化していく

○価格設定の考え方

1. 受益者負担の適正化
施設に応じた駐輪場使用料を設定する
2. コストを適正に算出
市有地価値を駐輪場使用料に反映する
3. サービスに応じた料金体系
距離、階層、屋根の有無を使用料に反映する

無料駐輪場の有料化に際し、大幅な設備改良は無く、設備投資分を値上げするものではないため、これまでの利用料金に対して大幅な値上げとならないよう配慮する。

○減免制度について

現在の減免制度

駐輪場種別	<input type="checkbox"/> 身体・知的障害等の認定を受けているもの <input type="checkbox"/> 特定疾患医療を受給している者。 <input type="checkbox"/> 自立支援医療を受給している者。 <input type="checkbox"/> 上記の介助者。	<input type="checkbox"/> 生活保護受給者。 <input type="checkbox"/> 児童扶養手当受給者及び支給対象児童。
第1種	※1 1,080円	※2 1,080円
第2種	※1 810円	※2 540円
第3種	※1 540円	※3 0円

※1 使用希望駐輪場（第1種～第3種）の月額使用料の1/2を減額。

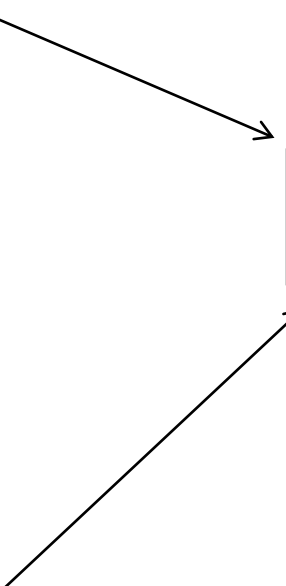
※2 第1種、第2種駐輪場は第3種駐輪場月額使用料相当額を減額。

※3 第3種駐輪場は、月額使用料を全て減額。（免除）

現行の高校生以下の減免制度

駐輪場種別	一般	高校生以下
第1種	2,160円	1,080円
第2種	1,620円	810円
第3種	1,080円	540円

参考資料 1



駐輪場種別や受給者区分を廃止し、新使用料金から一定割合を一律に減免することとしたい。(全て同一割合)

参考資料 2

「交通対策審議会の意見」

市川市自転車等駐輪場における経営手法の見直し方針案にいただいた交通対策審議会においてご審議いただいた意見、及び、後日、意見書の提出として委員から寄せられた意見は以下のとおりです。

意見分類	審議会の意見
コストの適正化	経営改革を立てる上での利用率については実際の台数を踏まえたものとする。また、無料駐輪場の有料化においては、新たなコストを見込んだ計画とすること。
コストの適正化	駐輪場の照明や防犯対策などについては、新料金に応じた設備の改善を図ること。
コストの適正化	放置自転車の増加が懸念されることから、放置自転車禁止区域内外にかかわらず対策を講ずること。
コストの適正化	今後もコストと収益の状況を公表すること。
料金の適正化	時間貸しの駐輪場については、初期利用時間の無料化を図ること。
料金の適正化	学生やハンディキャップをお持ちの方等の割引料金を設定すること。また、小学生以下の無料化を検討すること。
サービスの向上	3人乗り自転車や原付二種への対応に配慮すること。
サービスの向上	有料化に伴うサービス向上策の内容を具体的に示すこと。
サービスの向上	駐輪場管理人による適切な管理と、接遇の向上に努めること。

「パブリックコメント意見（速報）」

市川市自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案にいただいたパブリックコメントは以下の通りです。

性別	住所	意見分類	意見の概要
男	若宮	コストの適正化	利用率の低い駐輪場の縮小など、駐輪場の数や規模を見直し、経費縮小に努めるべき
男	若宮	コストの適正化	放置自転車の撤去保管料が安いのではないかと、値上げを含めて撤去保管料を適正にすべき
男	市川南	コストの適正化	委託先の人数や業務内容が不明確である。また、低利用率の原因についても分析し、コスト低減をどのように行うのか資料として示してから、見直し方針を展開させるべき
男	原木	料金の適正化	無料駐輪場の有料化にあたっては、100円以上徴収すること
女	国分	料金の適正化	屋根や階層で料金の細分化は賛成ですが、土日は空いているので一時利用できるようにしてほしい
男	若宮	受益者の拡大	受益者であるバス会社や鉄道会社、商店も費用負担すべきであり、運営費を利用料のみで賄う必要はない
女	南行徳	無料駐輪場の維持	有料化は、経済的に大きな負担になるため、無料駐輪場を無くさないでください
男	松戸市	無料駐輪場の維持	子育て世帯や若者への支援として、学生は、無料か大幅減額すべき
女	福栄	無料駐輪場の維持	有料化すると店や公園への放置が増えて、巡回と撤去の回数を増加する必要があるため、ある程度無料にしたほうが良い

性別	住所	意見分類	意見の概要
男	若宮	駐輪場の充実	自転車利用は、CO ₂ の削減、生活習慣病の予防、大震災発生時の代替交通として有効であるので、自転車の利用を促進する施設と捉えるべきである
男	若宮	民間活力の活用	民間で行ってサービスが向上するためには、競合他社との競争が不可欠だと考えるが、公的な役割が大きい市営駐輪場でそれを実現できるのか
男	相之川	民間活力の活用	民営化により、利益が上がることも考えられ、無料箇所もできるはずなので、委託先やその進め方について議論する余地がある
男	原木	民間活力の活用	駐輪場の管理は、高齢者に任せれば良い
男	曾谷	サービスの拡大	本八幡駅と市川駅周辺の中型・大型バイクの置き場が少ないので、時間貸しで一部開放してほしい
男	南八幡	見直しの時期	自転車の走行空間を整備してから、全部有料化すべき
男	南八幡	見直しの時期	外環道路の整備とともにバス路線を増設することで自転車通勤は減少し、駐輪場数も減少するため、バスの利便性を高めてから有料化はすべき

市民説明会時の意見（速報）

市川市自転車等駐輪場における経営手法の見直し方針案にいただいた市民説明会での意見は以下の通りです。ご意見と市の考え方を掲載しています。

	市民説明会での意見	市の考え
コスト適正化	南行徳第3駐輪場において、駐輪場に入退場する際に一時停止をしない利用者が多く、ウォークマンやスマートフォンをしながら走行するなどマナーが悪すぎる。事故が起きてからでは遅いので、その駐輪場は無くしてしまった方がいい。	南行徳では駐輪場が不足しているので、南行徳第3駐輪場を無くすというのは考えにくい。利用者のマナーが悪いというのは、市のみでは解決できないので警察と連携するなど検討する。
コスト適正化	約1億円の赤字との説明を受けたが、高いと言われている市川市職員の給与や職員数など市民に負担を求める前にそちらの見直しが先ではないか。	職員の給与については従来ほど国家公務員と比べて高くはない。年々国家公務員給与に近づくようにしている。職員数については年々減っている。
料金適正化	市営駐輪場に税金が投入されていること、また勝田台の地下駐輪場で市外の方が市内料金の1.5倍から2倍の駐輪場使用料を負担していることを参考に、使用料改定をする際に市内・市外料金も検討してもらいたい。	現在の駐輪場使用料は、距離と地上・地下の区分だけで定めてきたが、今後は駐輪場を選ぶ際に駐輪場利用者の選択肢の幅が広がるように検討していく。
無料駐輪場の維持	「受益者負担」ということが説明されたが、税金を納めているのにさらに負担を求めるのか。不要と思われるものに税金を使うのではなく、必要な事業に使って欲しい。また、無料だから行徳駅前第3、第4のような駅から遠い駐輪場を利用しているのに、遠く不便な駐輪場を有料化するのをおかしい。	駐輪場を利用していない市民の税金が使われていることもあることから、今後も検討を続けていく。

	市民説明会での意見	市の考え
見直しの時期	民営化の時期はいつか？	現在、民営化の予定はない。今後、検討していく。
その他の質問	説明会の開催にあたり、広報やインターネット等、限られた人しか見ることができず、参加者が10名しかいない。 10名しかいない参加者から意見を募ったところで市民の意見と言えるのか。周知が不足している。	広報やインターネット、市内の全駐輪場に説明会開催のポスター掲示を行ったが、より多くの参加があるように周知方法について検討していく。
その他の質問	駅周辺で食事をする際に警告札を貼られることがあるが、どのくらいの時間置いていると貼られるのか？	放置禁止区域である駅周辺については公道上に自転車を置くのではなく店舗の駐輪場を利用して欲しい。
その他の質問	行徳駅周辺にある弁天公園に放置自転車がなくなっているが市は把握しているのか？	弁天公園内に多くの自転車が駐輪されているのは把握している。今後、継続して対応していく。
その他の質問	方針（案）ということで本日の説明会が開催されたが、方針が固まった段階で市民に説明される機会が今後あるのか？	そのような機会は今後予定していない。皆様からの意見を取り入れ、具体的に方針が固まれば市議会にかけられることになる。

	市民説明会での意見	市の考え
その他の質問	<p>昨年来から広報で無料駐輪場の有料化をうたっており、また市議会にて話しが通ったと聞いたが、進捗状況はどのようなになっているのか。</p>	<p>市政戦略会議より無料駐輪場の有料化との答申を頂いているが、利用者がいることなので慎重に進めていく必要がある。</p> <p>まだ方針という段階なので、有料化の具体的な料金等は決めていない。無料駐輪場の有料化は受益者負担の原則をもって適正な使用料を設定していく必要があり、今後は利用者の皆様からの回答も含め決めていきたい。</p>

近隣市駐輪場現況一覧

参考資料3

	市川市	松戸市	浦安市	船橋市	鎌ヶ谷市 (参考)											
運営主体	市	市	市	市	民間											
管理	シルバー人材センター	シルバー人材センター	(公財)浦安市施設利用振興公社による指定管理	(公財)船橋市生きがい福祉事業団	民間											
契約手法	業務委託	業務委託	指定管理	業務委託	-											
駐輪場のある鉄道駅	駅 12	14	3	24	6											
駐輪場数 (無料駐輪場数)	箇所 46(18)	63(10)	28(0)	80(0)	21(0)											
うち一回利用施設 (無料時間あり)	箇所 19(3)	33(0)	21(6)	13(7)	-											
一回利用無料時間	時間 2h	-	2h	1.5h	-											
収容台数	台 37,910	27,047	21,000	39,069	8,234											
原付収容	台 694	1,881	710	2,495	459											
申し込み先	市・駐輪場	駐輪場	公社・駐輪場	市・駐輪場	駐輪場											
募集時期	11月	2月	1月	1月	3月											
ネット対応	×	×	○	○	×											
金額区分	距離	距離、屋根	距離、指定場所	市内外、屋根	屋根											
一般税込月額 (円)	距離	屋根なし	屋根あり	屋根なし	屋根あり	指定なし	指定あり	屋根なし	屋根あり	市内居住者	640	750	1550 (屋根無)			
	0	1,620	2,160	1,020	1,540	720	1,830	市外居住者	1,290					1,510	2100 (屋根有)	
	100m	1,080	無料	無料	820	1,230	480									1,290
	200m	無料														
300m	無料	無料	820	1,230	480	1,290										

(運営主体)
・市川市と同様に、ほとんどの自治体が運営主体となって、シルバー人材センター等に業務委託している。
・鎌ヶ谷市は、市営駐輪場がなく、民間事業者の駐輪場が利用されている。

(無料駐輪場、無料時間)
・松戸市の一部において無料駐輪場が存在するものの、他の自治体は無料駐輪場がない。
・1回利用施設の一部において、無料時間が設定されている。

(原付自転車)
・原付自転車の定期利用については、全ての自治体が50cc以下に限定している。

(募集)
・4月からの定期利用については、事前募集となっており、駐輪場で手続きできる。

(料金体系)
・料金体系については、各自治体とも距離及び屋根等で区分している。
・料金は、概ね500円から2,000円の範囲で設定されている。
・浦安市は、駐輪箇所の指定の有無により区分されている。
・船橋市は、利用者の居住地で区分されている。

高校生以下割引率	50%	かっこ内表示		33%	58%	無し					
	距離	屋根なし	屋根あり	屋根なし	屋根あり	指定なし	指定あり	屋根なし	屋根あり		
高校生以下 税込月額 (円)	0	810	1,080	720 (29%)	1,020 (34%)	480	1,220	270	320	市内居住者	
	100m	540		510 (38%)	820 (33%)						320
	200m	無料	無料			510 (38%)	820 (33%)	320	860		
	300m	無料	無料	510 (38%)	820 (33%)	320	860	540	640		

(割引)
・すべての自治体において、高校生以下の割引を実施している。
・割引率は、概ね30~60%の範囲で設定されている。

割引率比較

